

R6 薬科中グループ校 小中一貫教育構想図

薬科中学校

中薬科小学校



視点1：目標の共有

薬科中G 学校教育目標

自立する子

やりたいことを自分で見つけ、他と関わりながら自分なりの思いを持って主体的に行動する

視点2：連続性・系統性

自主自律の力

○タイムマネジメント力の育成

自分の生活を見つめ、計画的な家庭学習の実践を通して、見通しをもって生活する力を育成します。

○自発的・自立的な活動の推進

子ども発信の企画や子ども主体の運営を通して、自分たちで自分たちの生活をよりよくする力を育成します。

学ぶ力

○わらしな学

～「ふるさと薬科」の強みと願いを生かした特色ある学習～
地域の「ひと・こと・もの」に関わって探究的に学び、地域を愛する子、地域に貢献できる子を育成します。

○一人一人が主体的に学ぶ授業

学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりすることを通して、将来にわたって学び続けることができる力を育成します。

つながる力

○さわやかなあいさつ

学校でも家庭でも地域でも、時と場に応じたあいさつの実践を通して、コミュニケーション力を育成します。

○縦割り活動の充実

学年や校種を超えた交流を通して、多様な考えに触れながら、コミュニケーションの幅を広げ、相手や集団のことを考えた行動ができる力を育成します。

軸となる取組

視点3：協働・交流

児童生徒の交流活動

○小学校と中学校の交流

児童会生徒会活動の協力・協働、各校の行事への参加などを通して、小中のつながりを深め、自己肯定感や自己有用感を育成します。

- ・わらしな学習発表会（プレ発表）
- ・薬科中一日体験入学（6年）
- ・薬科中「芝生祭」への協力
- ・お茶摘み体験

教職員の協働

○薬科中G小中一貫教育全体会（年3回）

「軸となる取組」を中心に研究協議や意見交換を行い、系統性や連続性を確認しながら、9年間のゴールの子どもの姿を全職員で共有します。また、令和10年に向けた新しい学校における取組も協議していきます。

- ・授業参観
- ・「わらしな学」授業研修会、研究協議
- ・新しい学校における取組の協議

視点4：地域連携

地域に開かれた学校

地域活性化に向け、小中学生が協働しながら企画などに参加し、地域と連携し、地域を生かした教育活動を実施します。

- ・地域の方を講師に迎えた特別授業
- ・地域イベントでの協働
- ・学校応援団、健全育成会活動など

学校統合等準備委員会

小中学校の校長、教頭、自治会代表、PTA代表、学校評議員等で組織し、子どもの実態および学校や子どもへの願い、教育活動への支援、地域と学校との協働について協議し、令和10年の統合に向けて準備します。